

女性向けの、コンドームを使うための「100の方法」の使い方

このリーフレットは保健所での HIV 抗体検査時の相談場面や、教育現場での女性に対する健康教育・性教育、性をめぐる相談場面で活用するツールとして作成しました。コンドームは望まない妊娠を防ぐだけでなく、HIV 感染症をはじめとする性感染症予防にも役立つことを対象の女性（達）と共有した上で、以下のような使い方をして下さい。

ベストな使用法は、予防について話し合っている時に補助資料として使うことです。

HIV 感染症その他の性感染症の予防について、対象者の疑問や不安に応じて様々な知識や情報を提供される場面があると思います。「コンドームを使うことで感染予防が可能」ということが話の中に出てきた時、「だから、コンドームを使いましょう」で終わらず、もう一歩進んで、「私は実際に使えるだろうか？相手に使ってほしいと言えるだろうか？どう言えば？」と考えてもらえると、介入効果をより高めることができます。

具体的なやりとりの例

…ということで、コンドームを使えば避妊だけでなく性感染症の予防も OK ということはおわかりですね？

—でも実際の場面では、使ってほしくてもなかなか言い出せないようなことはありませんか？

—でも実際の場面では相手から「使わなくていいよね」とか「使わない方が気持ちいい」と言われたりすると、使いにくいなんてこともあるみたいですが、あなたのご経験ではいかがですか？

—そういう時、どう言ったらいいか迷って、結局まあいいかな…となることもあるのでは？

—そんな場面で、このリーフレットが参考になるかもしれません。これは、女性の立場から、どんな言い方や方法でコンドームを使いやすくできるのかについて 373 人の（または、300 人以上の）20 代 30 代の未婚女性の実験の体験を集めて作ったものです。参考までに、ちょっと見てみませんか？

リーフレットを拵げて見せる。タイトルをいくつか紹介する

—〇〇…というのもあるし、**…というのがありますよ。興味あるところだけでも読んでみて下さい。

—どうでしょう？あなたのご自分でも使えそうな言い方、ありますか？

—これはいいな、と思う方法はありますか？

—あなたにとってこれならしっくりくるな、と思える言い方はどれでしょう？

どれかを選択したら

—あ、なるほど……ですね？これなら言えそう（できそう）な感じですか？

—なるほど～、そういう風に言えたらいいですね。

—ではこの言い方（方法）を心に留めておいて、今度そういう場面になったら、ぜひ実践してみてください。

気になった項目、これがいいと選んだ項目にしるしをつけて、
相手が拒否しなければ最終的にこのリーフレットを手渡し持ち帰ってもらう

上記のようなやりとりが難しい場面では…少なくとも、こう言い添えて手渡しして下さい。

このリーフレットには、セックスの際にコンドームを使いやすくする言い方や方法がたくさん書いてあります。これは、アンケート調査で 20 代 30 代の未婚女性の方々の実際の体験を聞いて作ったものです。あなたの参考になるような方法が見つかるかもしれませんので、後でゆっくり読んでみて下さいね。